

令和3年度 一般会計予算

提出課 健康対策課
 (目) 3. 保健事業費
 (単位:千円)

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費

事業名	健康づくり推進事業				
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業				
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目				
	関係法令・例規				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,226	2,039	37			2,002

【事業概要及び必要性又は目的】

健康づくり推進協議会、保健委員会、町内医療機関との意見交換会を開催し、町の健康づくりを推進する。また、健康フォーラムを開催し地域ぐるみでの健康意識を高める。

【事業の内容】

①健康づくり推進協議会

健康づくり推進協議会を組織し、健康課題や健康づくり政策を検討する。
 協議会委員 関係行政機関代表(1)、町内医療機関(4)、学識経験者(2)、学校・保健関係(6)
 開催回数 年1回(11月頃)
 内容 人口推移、医療費、各種保健事業等の実施状況、次年度の事業計画について協議

②保健委員会

各集落に保健委員を置き、住民健診のとりまとめを依頼し、地域ぐるみの健康意識を高める。 集落 97集落 保健委員 155人

実施月	内容
6月	住民健診についての説明
12月	健康づくりに関する講演(健康づくりフォーラムと同時開催)
2月	住民健診とりまとめのお願い

③町内医療機関との意見交換会

住民健診や予防接種及び健康づくり事業等を検討するため、町内6医療機関医師と協議する。
 開催回数 年2回(10月頃、3月頃)
 内容 人口推移、医療費、各種保健事業等の実施状況、次年度の事業計画について協議

④健康づくりフォーラム

住民を対象に健康や介護予防をテーマに各団体と連携して研修会も兼ねた健康づくりフォーラムを開催する。開催回数 年1回(12月頃)
 実施日 令和3年12月11日(土) (予定)
 内容 テーマ:町民一人ひとりが生涯健康で心豊かに自立した生活を送ることができる町をめざして
 映画上映、連携団体の展示、ほっとカフェ ほか
 連携団体 高齢者教室、障がい者ボランティアの会、障がい老人を支える家族の会、精神障がい者家族の会、保健委員会、健康運動アドバイザー協議会 ほか

(事業費)

区分	予算額	内容
報償費	60千円	会議出席報償費
需用費	25千円	フォーラム展示・資料教材代
委託料	11千円	フォーラム託児
使用料及び賃借料	187千円	フォーラム送迎バス代、映画DVD使用料
負担金補助及び交付金	1,756千円	町保健委員会交付金
計	2,039千円	

【本年度の計画効果】

健康づくりの目標が明確になり、地域ぐるみでの健康づくり及び健康増進を図る。

【予算措置(財源内訳)】

健康増進事業費補助金(県) 37千円(基準額の1/3)
 一般財源 2,002千円

令和3年度 一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 1. 保健衛生総務費
(単位:千円)

事業名	高齢者一体的保健事業			
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業			
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目			
	関係法令・例規			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳		
		国・県支出金	起債	その他
0	4,469		3,500	969

【事業概要及び必要性又は目的】

高齢者は、慢性疾患や多病、認知機能の低下、社会的孤立など多様な課題を抱えていることが多く、医療・介護・保健分野が一体的に高齢者の保健事業に取り組むことが求められている。

鳥取県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、健康づくり教室などの通いの場で、医療専門職が関与し、保健医療の視点から受診勧奨を行うなど、疾病予防、フレイル対策といった高齢者の特性に応じたサービスにつなげていく。

【事業の内容】

会計年度任用職員を雇用し、次の事業を行う。
(事業費は各事業で計上している。)

予算計上事業名	事業名	内容
健康教育事業	水中運動教室	プールでの水中運動教室 3コース
糖尿病予防関連事業	糖尿病重症化予防事業	①健診結果およびレセプト情報を元に、糖尿病未治療者および治療の中断者を対象に受診勧奨を行う。 ②健診結果から、糖尿病コントロール不良かつ腎機能が低下している方を対象に、かかりつけ医と連携しながら、腎臓機能を低下させないよう保健指導を実施する。
訪問指導事業	重複・頻回受診訪問指導	レセプトから重複・頻回受診の疑いのある者を抽出し、適正な通院につながるよう訪問指導する。
介護予防事業	高齢者運動教室(まめまめクラブ)	高齢者の健康維持・増進、介護予防、閉じこもり予防、地域住民の交流の場として、希望集落の公民館で運動教室を開催する。 ・直営で実施、概ね60歳以上の方を対象

(事業費) 人件費のみ計上する。

会計年度任用職員報酬	3,554	千円
職員手当等	659	千円
旅費(費用弁償)	256	千円
※保健師2人、管理栄養士1人	4,469	千円

【予算措置(財源内訳)】

後期高齢者保険事業委託料	3,500	千円
一般財源	969	千円

令和3年度 一般会計予算

提出課 健康対策課
 (目) 5. 介護保険事業費
 (単位:千円)

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

事業名	介護予防事業				
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業				
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目				
	関係法令・例規				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,494	5,635			1,486	4,149

【事業概要及び必要性又は目的】

高齢者を対象として、介護予防に関する講演会や運動器機能等の維持・向上を図るための教室を開催し、介護予防に関する知識の向上、実践による要介護状態への移行防止を図る。

【事業の内容】

(単位:千円)

事業項目	事業内容	事業費
認知症簡易検査及び物忘れ相談会	住民健診等に出向いて認知症の簡易検査を行い、認知症のおそれや予防の必要な高齢者等は、専門医による「物忘れ相談会」を通じて、認知症予防教室や専門医療機関の受診等につなげる。 ・認知症の簡易検査【住民健診等の機会を通じ随意】 ・物忘れ相談会、頸部エコー検査結果説明会【4回】	314
はつらつ教室	認知症予防教室を実施し、頭の活性化訓練を行う。(委託) ・認知症予防教室(本教室) 1教室【週1回ペース4月間】 ・認知症予防教室(月2回) 5教室【月2回ペース年間】 ・認知症予防教室(月1回) 2教室【月1回ペース年間】 ・テレビ「とっとり方式認知症予防プログラム指導」【2ヶ月に1回】	3,272
栄養改善 口腔機能教室	栄養改善や口腔機能向上に関する教室を開催する。【1回】	30
シニア パワーアップ教室	運動器機能の維持改善を図るため、スポーツジムにおいてトレーニングマシン等を活用した短期集中の通所型介護予防教室を開催する。(委託) フィットネス&スタジオ・パル、岸本カーブス、みぞくちテラソを会場として、それぞれ1クールずつ【計3クール】	823
高齢者運動教室 まめまめクラブ (健康増進室より移行)	高齢者の健康維持・増進、介護予防、閉じこもり予防、地域住民の交流の場として、希望集落の公民館で運動教室を開催する。 ・直営で実施、概ね60歳以上の方を対象	1,196
計		5,635

【本年度の計画効果】

介護予防に関する講演会や教室を開催することにより、介護予防に関する知識を向上、要介護状態への移行防止を図る。

【予算措置(財源内訳)】

南部箕蚊屋広域連合負担金 1,486 千円
 一般財源 4,149 千円